

生涯教育研修会報告書

学術部 学発番号 第12-010号

平成24年 6月 23日 報告

報告者 : 鮎川 宏之

所属 : 医仁会武田総合病院

連絡先 : 075-572-6331

主題: 「乳腺の非浸潤癌の超音波検査」

講師: 講演: 藤岡 一也先生

日時: 平成23年3月17日(土) 14:00~18:30

場所: 京都保健衛生専門学校 1階視聴覚室

講師所属: 大阪市立大学附属病院 中央検査部

分類: 生体検査20点

全体参加人数: 43人

京臨技会員参加人数: 20人

仮会員: 0人

非会員: 0人

賛助会員: 0人

2012年6月23日(土) 京臨技生理研究班・乳腺勉強会が行われました。講師は昨年に引き続き、大阪市立大学附属病院 中央検査部の藤岡一也先生に講演をお願いしました。講演テーマは(乳腺の非浸潤癌の超音波検査)でお願いしましたが、講演内容は非浸潤癌に限定せず乳癌の基礎的な分類法や区別、検査の進め方から走査方法までの流れを話していただきました。非浸潤癌は近年増加傾向にあり全乳癌の10~20パーセントを占めていますが、エコー上腫瘍として認識できないものも多いことから、苦手意識やエコーでは、わからないと思い込んでいる技師も少なくないと思います。そういった認識の方にその鑑別方法や考え方を話して頂きました。非浸潤といっても半分は腫瘍を形成してくること。乳管の拡張や不均一性は左右差をしっかりと比べて判断する必要があること。周囲組織への境界や構築を観察していくこと。腫瘍を形成してこないものについては残念ながらエコーでは困難であること。少し難しい話になるかと思っていましたが、とても基本的なことから動画を使った腫瘍の鑑別方法まで丁寧に話していただいたので乳腺エコーの初心者からある程度経験している技師までが興味を持って聞ける内容でした。最後に非浸潤癌を怖がる必要はないというメッセージと勉強会の後は些細な変化も所見として取り過ぎてしまい、偽陽性を作りだすことは患者さんにとって不必要な不安感を与えてしまう危険があるという心構えも話されました。

(報告者 北野 智美)

